

Press Release

「Shibboleth IdP オプション」の機能を強化した「AXIOLE v1.10.3」をリリース

ユーザ同意取得システム「uApprove」と「SP ポータル機能」を実装

IdP 専用アプライアンスモデルも新たにラインアップ

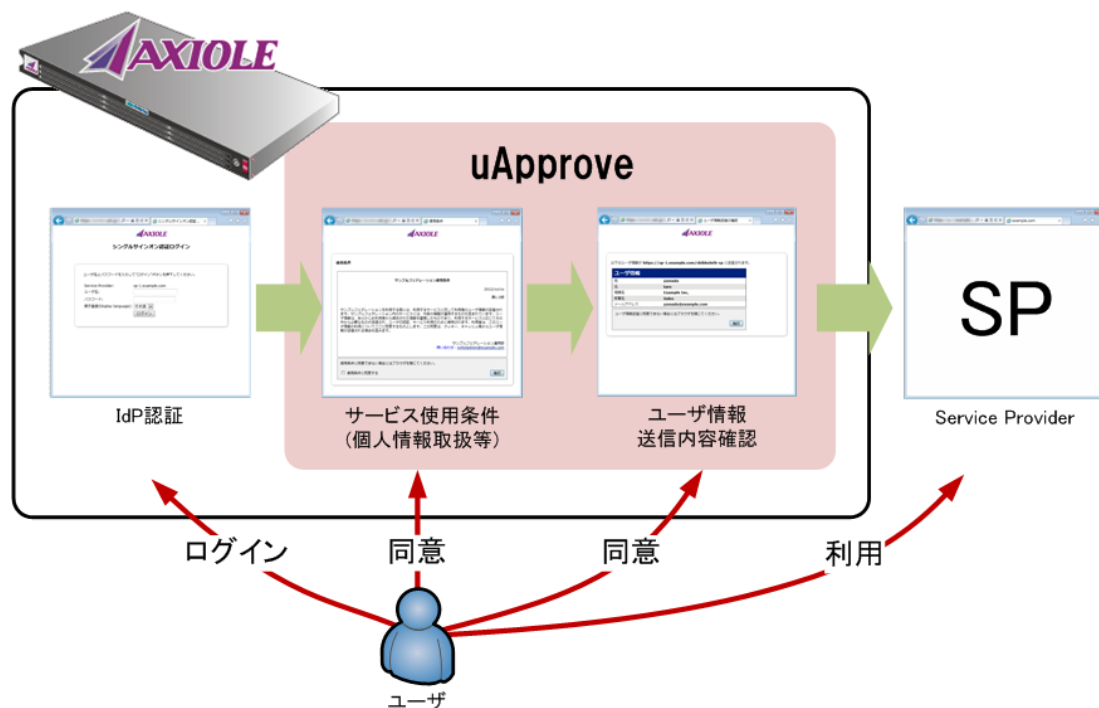
株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、LDAP ベースの認証アプライアンスサーバ「AXIOLE（アクシオレ）」の、学術教育研究機関向けのオプション「AXIOLE IdP オプション」の機能を強化した最新バージョン「AXIOLE v1.10.3」をリリースし、6月29日からファームウェアの提供を開始します。本バージョンでは CA 証明書の管理機能も強化されています。

AXIOLE IdP オプションは、全国の大学等と国立情報学研究所（NII）が連携して運用する「学術認証フェデレーション」（学認：GakuNin）の相互認証連携システム「Shibboleth」に対応し、異なる組織間でのシングルサインオンを可能にする機能を提供します。本バージョンでは、Shibboleth におけるユーザ同意取得システム「uApprove」と、「SP ポータル機能」（SP=Service Provider=簡易ポータルサーバ）を追加して実装しています。

この Shibboleth IdP オプションの機能強化により、IdP 関連機能を実装したオールインワンのアプライアンスサーバとして、導入検討から実運用開始までが大幅に短縮されます。AXIOLE IdP 機能で学術フェデレーションや地域大学間連携機能の本格運用が容易に可能となります。

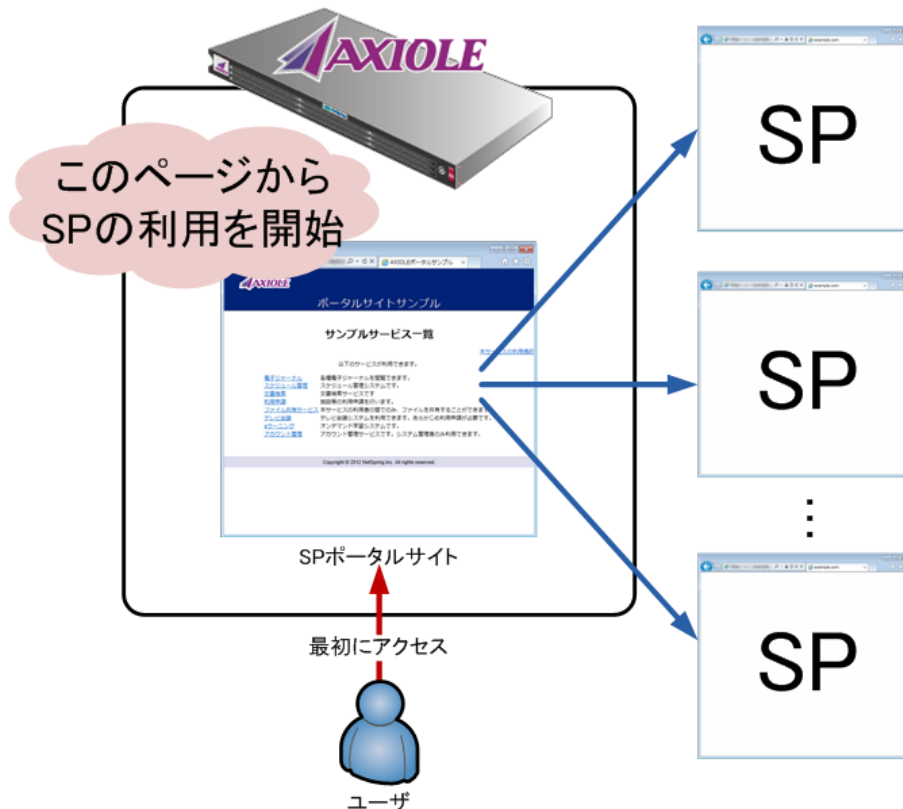
同時に AXIOLE IdP 機能にのみ限定した IdP 専用アプライアンスモデル（外部認証 DB 参照のみ）も併せて提供を開始します。これにより、既に LDAP 等の認証システムを運用している組織においても容易に Shibboleth IdP を追加構築することが可能になります。

【Shibboleth IdP における uApprove 機能】



Shibboleth で、IdP の認証後に組織外（学外）の各サービス提供者の Web アプリケーション（SP）にアクセスする場合、SP は必要なユーザ情報を IdP に要求します。ユーザ同意取得システム「uApprove」によって、SP が必要なユーザ情報を要求する旨の許諾を IdP から利用者に求め、それを利用者が承認できるプロセスを追加することが出来ます。プライバシー保護の観点も含めて利用者の意思に反することなく、サービス提供者にユーザ情報を提供することが可能となります。本バージョンでは、この処理を管理者の権限において使用の可否を設定することが可能になりました。

【Shibboleth SP ポータル機能】



Shibboleth IdP を稼働する場合、AXIOLE の管理者は、ユーザデータベースの LDAP も含めてオールインワンで、運用を開始することができます。しかし、利用者に利用可能な SP の URLなどを公表するには、多くの場合、別途 Web サーバを用意するなどして「ポータル」としての Web ページが必要になります。AXIOLE では、簡易ポータルサーバ機能として「SP ポータル」を提供します。これによって、SP のリンク集を簡単に用意することが可能になり、エンドユーザの SP の利用促進が可能になる機能も AXIOLE でオールインワンとして提供されます。本機能も uApprove 機能と同様に管理者の設定により利用可否を設定することが可能になりました。

【その他の追加変更機能】

- CA 関連の証明書の個別追加削除処理
- IdP 用を含めて証明書を用途別に設定可能
- その他修正

■AXIOLE「IdP オプション」の主な機能

- 連盟“フェデレーション”内での Web 認証機能と Web アプリケーション間シングルサインオン機能
フェデレーションに参加することで、フェデレーション内の複数の Web アプリケーション (SP) をシングルサインオンで安全に利用できるようになります。
- Shibboleth 向け (GakuNin 推奨) 属性等の定義を標準提供
学術機関向けに、Shibboleth (GakuNin) 環境で利用されることの多い属性等を予め定義しており、職種、利用資格等の属性を AXIOLE の WebUI から編集することが可能になります。必要なメタデータ等のテンプレートが標準提供されます。
- 利用可能な Web アプリケーションの自動更新機能
フェデレーション内の Web アプリケーションが追加された場合、その情報は定期的に AXIOLE 内に取り込まれるため、自動的に新しい Web アプリケーションの利用が可能になります。
- Stored ID (persistent-id) の利用および管理
どこの Web アプリケーションからどのユーザが IdP の認証を受けたかという識別情報を AXIOLE 内部で持続的に保持。IdP 認証時にこの Stored ID を送信することで、Web アプリケーション側においてユーザ単位で前回の情報を参照・自動復元等が可能です。また Stored ID の検索・ダウンロード・削除等の管理機能が提供されます。
- IdP ログ管理
AXIOLE の管理 WebUI で IdP ログの管理が可能。IdP による認証を受けたユーザ、Web アプリケーション、要求・応答の内容の参照や保存・転送等の管理が容易に行えます。
- IdP 機能の冗長化が可能
AXIOLE の冗長構成 (AXIOLE リダンダンシ構成) により IdP の冗長構成も可能に。

■販売価格

- AXIOLE IdP オプション機能 ライセンス料金：100 万円 (一括払いのみ)
 - Shibboleth IdP 機能
 - uApprove 機能
 - SP 簡易ポータルサーバ機能
- AXIOLE IdP 専用アプライアンス 本体価格：160 万円
(初年度保守費含む。次年度以降保守費用年額：20 万円)
 - Shibboleth IdP 機能限定 (uApprove/SP 簡易ポータル機能含む)
 - 外部認証データベース利用前提 (AXIOLE アカウントなし)

※価格はすべて税別

【AXIOLE の特長・機能、およびオプション機能について】

- ・LDAP ベースの認証基盤を 1U のアプライアンス形態で提供
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザ向け機能を提供
- ・RADIUS プロトコルにも対応
- ・ActiveDirectory (AD) と ID 同期が可能
- ・AXIOLE 2 台による冗長構成が可能
- ・「LDAP スキーマオプション」
汎用的な LDAP 機能を提供 (有償)
- ・「クラウド連携機能 (Google Apps 連携オプション)」
AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を提供 (有償)

AXIOLE 製品専用サイト：<http://www.axiole.jp/>

【ネットスプリングのその他の主な製品】

- ・ FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)
FEREC 製品専用サイト : <http://www.ferec.jp/>
- ・ SmartSignOn for FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト : <http://www.SmartSignOn.jp>
- ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)
SSOcube 製品専用サイト : <http://www.SSOcube.jp/>

※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・ 本社所在地 : 東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・ 設 立 : 2000 年 3 月
- ・ 資 本 金 : 8,075 万円
- ・ 事 業 内 容 : ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・ U R L : <http://www.netspring.co.jp/>

お問い合わせ先 :

株式会社ネットスプリング マーケティング部

TEL : 03-5440-7337 E-mail : info@netspring.co.jp